

裾野カンツリー倶楽部 理事会議事録

開 催 日 時 : 2025 年 5 月 17 日 (土) 午後 2 時 40 分開会

開 催 場 所 : 裾野カンツリー倶楽部 カフェテリア

出 席 者

理 事 長 (議長): 好川 弘之

副理事長 : 鈴木 徳夫

名誉理事 : 池森 賢二

理 事 : 吉川 充、木村 栄二郎、末次 弘明、滝口 和子 (委任状出席)、
伴 義聖 (委任状出席)、藤岡 和子 (委任状出席)、藤原 峰之、
山田 晃久 (50 音順・敬称略)

倶楽部及び会社	: 裾野カンツリー倶楽部	グリーンキーパー	片岡 義明
	〃	副支配人	八木原 誠
	〃	書記	九島 宏樹

理事・総支配人の藤原より、全理事 11 名中、出席理事 8 名、委任状出席 3 名となっており、会則第 19 条 3 項に定める定足数を満たし、本理事会が成立することが告げられた。

会に先立って、2025 年度新入社員 甲斐 ひなた (フロント) の紹介がなされ、本人から挨拶があった。

会則に従い、好川理事長が議長となり議事に入った。

1. 理事委嘱のご報告

<藤原総支配人より>

- ・会則第 15 条に基づき、理事の委嘱の報告がなされた。
- ・中島 義昭理事については体調が芳しくないことから、ご子息からの申し出により 3 月末をもって退任された。
- ・理事は任期が 3 年であるが、今後も現在の方々に継続していただきたい旨の提案がされた。

2. 裾野カンツリー倶楽部 2024 年度下半期営業状況のご報告

●2024 年度営業報告＜藤原総支配人より＞

- ・年度別来場者数の推移が伝えられた。2023 年度までは新型コロナウイルスの影響により来場者数が伸び悩んだが、2024 年度から上昇傾向にある。2025 年度も 2024 年度までと同様に顧客単価を上げて、売上を伸ばしていくことを目指している。
- ・2024 年度は営業日数 337 日であるが、クローズ以外にも来場者が見込めない夏の暑い日や冬の寒い日を計画的に休場日にし、働き方改革としてキャディなどの休息につなげている。おそらく 2025 年度は 2024 年度よりもやや少ない営業日数になる予定である。
- ・来場者数の内訳は、メンバーが微減し、ゲストが増えている状況である。現在、新しい会員権は販売していないが、メンバーが退会される際は預託金が比較的低額なものだけを買い取り再販している。高額な預託金のものは償還している。
- ・年間来場者数は減少しているが、休場日を増やしたことにより一日の平均来場者数は 2024 年度までと同等となっている。
- ・売上については、昨年度よりも 6 千万円ほど増加している。これは、顧客単価が上がっていることが要因である。今年度も顧客単価を 500 円ほどアップさせることを目指している。
- ・会員数は減少傾向にあるが、様子をみながら新規募集も検討していきたい。

【質疑応答】

- ・昨今では、客層はどのような変化がありますか。＜池森名誉理事＞

→客層は良くなってきている。お医者様関係や地元ライオンズ関係の方などがお仲間を連れて来られるようになっていきます。＜藤原総支配人＞

●コースメンテナンスについての報告 ＜2024 年 12 月 ～ 2025 年 5 月＞

＜片岡グリーンキーパーより＞

- ・2024 年度は、3 月初旬に週 3 回も降雪があった。3 月なので気温が高く、雪は解けたが、コーライ芝や日本芝の芽だしに悪影響が及び、グリーン周りのアプローチ付近に痛みが激しく出てしまった。
- ・No.12 は左の木を伐採してシルバーティーを使用できるようにした。また、フルバックティーを使用できるように右のナラ・カシを伐採した。そのため、ティーグラウンドが 6 面使えるようになった。
- ・No.15 の 50y 付近の暗渠排水を取るとともに排水マスに流れるように大きなマウンドを設けた。
- ・No.18 の 300y 付近の暗渠排水を取り直し、排水マスへ導くためにフェアウェイを造形した。また、左法面からの表流水を遮るためにマウンドを設けた。

- ・ No.11 グリーン左バンカーの砂の流出を防ぐため、マウンドを設けた。
- ・ No.17 グリーン右手前バンカーの砂が流れないようにバンカーシートの張替えと暗渠排水工事を行っている。また、ティーグラウンドから見えないバンカーの手前部分を芝地にして、造形も変更した。
- ・ No.18 グリーン右手前バンカーは暗渠排水が複雑化して水が抜けにくくなっていたので、1度壊して勾配をきちんととって暗渠排水を作り直した。
- ・ No.16 のティーショットが行きやすい左 100y 付近、右 150y 付近に芝張りを行った。
- ・ No.4-5 の坂のカート路の凸凹を補修してスムーズにカートが進むようにした。
- ・ No.3 のカート路横のメタセコイアの根がカート路を持ち上げていたので、伐採した。
- ・ No.4 のヤマモモの木とバンカーがダブルハザードになっていたので、ヤマモモの木を伐採した。ヤマモモの木を伐採後は、管理道路が目立たないようにマウンドを造って隠した。
- ・ No.14 グリーンの芝の光合成を阻害していた売店横の木は、1本残して伐採した。
- ・ No.2 ティーグラウンド先の右斜面に生えていた枯松を一掃した。
- ・ No.3 ティーグラウンド左の竹林の間伐と枯竹の運び出しを行い、風情のある竹林を目指している。
- ・ 進入路は枯木が多く、毎日のように太い枝が落ちて事故につながる危険があったので伐採した。
- ・ No.11 右法面で破裂した給水管を復旧した。
- ・ 駐車場の低木を撤去して芝を張替え、整備した。
- ・ シカフェンスを 10 年かけてコースの外周を囲んだ。イノシシを一頭捕獲したが、まだ場内にシカやイノシシが何匹か潜んでいると思われる。

【質疑応答】

- ・ 春になって進入路の桜を見るのが楽しみだったので、少し寂しい気がする。＜吉川理事＞
→ 枝が落ちたり、強風などで倒れたりすることが心配なので、心苦しいが事故につながる前に切らせていただいた。＜片岡グリーンキーパー＞
- 今後、新しいものを植えることは考えていないか。＜吉川理事＞
- 1度きれいにしてから、もみじを中心に他の樹木を植えることも検討していきます。
＜片岡グリーンキーパー＞

3. 運営協議委員会活動のご報告

＜藤原総支配人より＞

- ・ 運営協議委員会の委員編成について、説明がなされた。また、分科会委員についても説明があった。

<山田理事 兼 運営競技委員長より>

・フェロシップ分科会

裾野カントリー倶楽部の名物料理を作っていただきたいという要望があったことから、昨年度からパエリアランチを提供していただいている。今のところ好評であると聞いているので、パエリアランチの予約方法を簡略化するなどして、人気獲得につなげてほしい。

・第 38 回ウェルカムコンペが 4 月 29 日（祝・火）に開催され、新入会員 6 名の方が参加された。理事・運営協議委員 4 名、推薦人 2 名にアテンドいただき、合計 12 名での開催となった。終始雰囲気は和やかであり、良い会となっている。

【質疑応答】

・パエリアランチの反応はいかがですか。<好川理事長>

→本場スペインでも食べたが、それに負けず劣らずの味が再現されている。他の方に聞いても、大変好評である。<山田理事>

→当日 8 時まで予約を受け付けており、最近は少しずつ予約も増えて浸透しつつある。4 人で食べるので、パーティーのような雰囲気となる。また、最後の盛り付けを料理長が行うので、お客様にも大変好評である。<藤原総支配人>

→料理長が 5 月末から大阪で開催されるパエリア大会の日本予選に出場するので、優勝して日本代表になれるように準備している。また、火おこしは大変重要なポイントであり、キャンプなどの経験値の高いコース課の熊谷が担当している。<藤原総支配人>

→高齢者もいるので、エスニック系よりもかつ丼や天井を作してほしいという声もある。

<吉川理事>

→名物料理を作るためにこのような形で料理長が試行錯誤しているが、今後は王道的な料理も並行して考えていきたい。<藤原総支配人>

・パエリアに限らず、予約制の料理も食品ロスを減らす観点から少しずつ増やしていきたい。<藤原総支配人>

→一人ひとり嗜好が違うこともあるので、個人で頼める名物料理もほしい。<吉川理事>

→素案ではあるが、肉料理・魚料理を選んであとはセットなどの料理提供も考えている。

近い将来、半分は予約、半分は当日注文の料理というような形で運営していきたい。

<藤原総支配人>

→運営協議委員会でも、お手頃で手軽に食べられる料理も置いてほしいという意見が出ている。<山田理事>

4. 年会費の未納状況および対応について

<藤原総支配人より>

・2024 年度の年会費未納者はおらず、会員資格停止の決議はありません。

(昨年の秋季理事会時点では、未納者は5名であった。)

2025年度の未納者は現在10名いるので、今後解消していきたい。

5. その他

<木村理事より>

- ・理事退任について、本人から申し出があった。これまで多くの場面で支えていただいたことに関する感謝の言葉が述べられた。<藤原総支配人より>
- ・今回のDM(メンバー案内)に記載されていたQRコードに不備があり、メンバーの皆様には大変ご迷惑をおかけしました。今後DMの閲覧方法などは社内で検討し、方向性が決まり次第お伝えいたします。
- ・ゴルフ場業界もPGMなどではキャンセルフィを徴収する流れが出てきている。静岡県ゴルフ場協会でもキャンセルフィ徴収を啓蒙する方向で動いている。当倶楽部も予約に責任をもっていただくために、他のゴルフ場と足並みをそろえてキャンセルフィの徴収制度を10月に導入する予定である。徴収方法などの詳細については、7月以降にお伝えいたします。
- ・キャディの獲得状況はどうか。<吉川理事>
- 今年6月に沖縄の高等学校を訪問し、進路指導主事に宣伝して獲得施策を実施する予定です。<藤原総支配人>
- 男性キャディというのはどうか。<木村理事>
- アルバイトキャディでは、4名程の男性が在籍している。<藤原総支配人>

次回開催日について、2025年11月15日(土)とし、参加された全員が承認された。

以上で本日の議題全ての審議及び決議が終了となり、午後4時20分閉会となった。

以上、議事の経過の要領及びその結果を記載し、議長記名押印する。

2025年5月25日

裾野カンツリー倶楽部 理事会

議長 理事長

好 川 弘 之

